

第10回手技にこだわる脳神経外科ビデオカンファランス 学術集会プログラム

－ “当たり前” のレベルを上げる－

日 時：2023年1月28日(土) 13時00分～19時20分(終了予定)
会 場：ステーションコンファレンス東京 5F 「サピアホール」
当番世話人：栗田 浩樹 (埼玉医科大学国際医療センター)

共催：手技にこだわる脳神経外科ビデオカンファランス
CSL ベーリング株式会社

プログラム

13:00 ~ 13:05 開会挨拶 当番世話人：埼玉医科大学国際医療センター 栗田 浩樹

13:05 ~ 14:35 一般演題 セッション 1

座長：山梨大学 木内 博之 / 埼玉医科大学国際医療センター 栗田 浩樹

1. 皮膚切開の当たり前：刃物としての円刃の本当の使い方

名戸ヶ谷病院 飯森 崇

2. 熟練や器用さを要さない術前術中の止血法の工夫

苑田第一病院 大熊 佑

3. シルビウス裂開放時の注意点～当科でのあたりまえとそのレベルを上げるために～

埼玉医科大学国際医療センター 木村 辰規

4. 脳動脈瘤手術においてバイポーラーによる瘤壁凝固の有効性とリスク

埼玉医科大学総合医療センター 齊藤 徹

5. 未破裂中大脳動脈瘤に対する小開頭クリッピング術

虎の門病院 有澤 慶

6. 水はけのよい血管吻合の場づくりにおけるSI吸引チップの有用性

西湘病院 松本 崇

7. バイパス手術で守るべきルーチンとその応用

日本医科大学付属病院 亦野 文宏

8. STA-MCA bypassの閉塞に対し、対側STAをpatch graftとして再開通を得た一例

三郷中央総合病院 安藤 俊平

9. “ゼロ”から“当たり前”にし、レベルを“上げる”ための当科の軌跡

埼玉医科大学国際医療センター 鈴木 海馬

14:35 ~ 15:05 Keynote Lecture 1 座長：総合東京病院 森 健太郎

脳血管外科領域 脳血管外科手術における“当たり前”のレベルを上げるとは

杏林大学 塩川 芳昭

— Break —

15:20 ~ 16:50 一般演題 セッション 2

座長：横浜市立大学附属市民総合医療センター 坂田 勝巳 / 日本医科大学 森田 明夫

1. “当たり前”のレベルをあげるための術前準備－ 3次元シミュレーション画像の利用
杏林大学病院 吉田 裕毅
2. “当たり前”を学び、伝える－多段階目標設定型経鼻内視鏡手術の術者育成システム－
帝京大学医学部附属病院 後藤 芳明
3. 解剖から考えた蝶形骨縁髄膜腫の摘出
東京慈恵会医科大学 渡邊健太郎
4. 蝶形骨平面髄膜腫と鞍結節髄膜腫：
同じよう異なる髄膜腫に対する経鼻内視鏡手術戦略
東京大学医学部 長谷川洋敬
5. 錐体路近傍膠芽腫の摘出術における当たり前のレベルを上げる
山梨大学 埴原 光人
6. 外側後頭下開頭－当施設の“当たり前”の開頭－
東京医科大学病院 一柵 倫生
7. Anterior transpetrosal approachを当たり前に行うために
足利赤十字病院 柴尾 俊輔
8. 吸収性人工硬膜DuraGenを用いて安定した硬膜形成を実現するための工夫
慶應義塾大学医学部 田村 亮太
9. 側頭葉内側神経膠腫摘出における確実な内側腫瘍摘出と血管・神経の温存方法
北里大学医学部 柴原 一陽

16:50 ~ 17:20 Keynote Lecture 2

座長：東京女子医科大学 川俣 貴一

- 脳腫瘍外科領域 脳腫瘍領域における”当たり前”のレベルの上げ方
東京医科大学 河野 道宏

— Break —

17:35 ~ 18:20

CSLベーリングセッション

座長：杏林大学 中富 浩文

髄液漏予防の“当たり前”のレベルを如何に上げるか

日本大学医学部 脳神経外科学系 神経外科学分野 診療教授 大谷 直樹 先生

18:20 ~ 19:10

特別講演

座長：埼玉医科大学国際医療センター 栗田 浩樹

“当たり前”のレベルを上げる！ー組織と個人、それぞれへの試みと工夫ー

医療法人 熊本桜十字 理事長、桜十字八代リハビリテーション病院 院長、済生会熊本病院 脳卒中センター 特別顧問

西 徹 先生

19:10 ~ 19:20

閉会挨拶

【お知らせ】 優秀演題賞および衝撃演題賞の受賞者発表を予定しています。

選考：本会代表世話人、監事および世話人



<会場アクセス>

東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 5F

- ・ JR 東京駅日本橋口直結
新幹線日本橋口改札 徒歩 1 分
八重洲北口改札 徒歩 2 分
- ・ 東京メトロ東西線 大手町駅 B7 出口直結